

県図なう。

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。

令和3年1月15日 発行
第118号（毎月15日発行）
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel：099-224-9511



鹿児島県立図書館

ホットニュース

県立図書館は、今年もあなたの「たい！」を応援します！



令和3年、2021年が始まりました。利用者の皆様におかれましては、気持ちも新たにスタートされたことと思います。県立図書館は、今年も県民の生涯学習の拠点として、皆様の御期待に応えられるよう、図書資料と施設、サービスの充実に努めてまいります。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

読みたい！

楽しみたい！

- 図書資料の充実
- おはなしのじかん
- 他館との連携を図った相互貸借
- 県内公共図書館への地方貸出

活動したい！

- 高校生図書館ボランティア養成講座
- 県立図書館ボランティア説明会(一般対象)
- 研修室の一般利用貸出

知りたい！

調べたい！

- レファレンスサービスの充実
- 課題解決支援コーナー・ミニ展示の充実
- 郷土資料の積極的収集
- 館長講演会、貴重資料紹介展

学びたい！

- 学習室の開放
- 図書館職員、学校職員向け図書館講座
- 各種研修会、図書館大会、来館研修、講師派遣
- 文芸ゼミ、学習サークル(高校生対象)
- 海音寺潮五郎記念文化講演会

図書館で探そう、調べよう！

～レファレンス(調査相談)事例から～ 節分今昔



先日、「現在は節分に落花生を食べたり、鯛などを飾る人がいるが、昔はどのように節分を過ごしていたのか知りたい。」という方がいらっしゃいました。

調べてみると、「鹿児島では節分を『節がわい』という。」と『かごしま今昔』(北山易美、片岡八郎/作 南日本放送)にあり、また風習として、厄年の人が辻や角に年の数のお金を撒く等の記述も見られました。

さらに、「節分」「節がわい」というキーワードで調査を進めていくと、ほかにもいくつかの風習が見られました。『鹿児島の民俗暦』(小野重朗/文 海鳥社)には、「セツガイアメという甘藷飴を食べる」「ある集落では鬼火にあたる火焚き行事を節替りの日に行っている」等紹介されていました。更に読み進めると「古い形の豆まき」について記述があり、以前は黒豆を煎って撒いていたことが分かりました。

ここで、さらに「節分に撒く豆が落花生になったのはいつからか？」という質問を受けたため、調べたところ『鹿児島の食文化読本』(千葉しのぶ/著 鹿児島女子短期大学)に「豆まきの豆が大豆から落花生になったのは、国内での生産が拡大した昭和30～40年代、北海道が始まりといわれています。鹿児島や千葉でも落花生の生産量が多いため、落花生をまくようになった。」と記述がありました。

節分の風習も時代とともに変化していることが分かる一件でした。

新着図書案内

《一般図書》 1月15日 (金)

- 『新聞の力』 橋本五郎/著 労働調査会
- 『超リアル戦国武士と忍者の戦い図鑑』
小和田哲男, 山田雄司/監修 G.B.
- 『日用美のくらしづくり、家づくり』
小澤典代/著 光文社
- 『校歌の誕生』 須田珠生/著 人文書院
- 『声が通らない!』 新保信長/著 文藝春秋

《児童図書》 1月23日 (土)

- 『ねこはすっぱり』
石津ちひろ/文 松田奈那子/絵 こぐま社
- 『しあわせなクレヨン』 丸山陽子/作 BL出版
- 『ぼくのとうさんわたしのおかあちゃん』
さくら文葉/作 フロネーシス桜蔭社
- 『ブラックホールの飼い方』
ミシェル・クエヴァス/作 小学館
- 『科学者になりたい君へ』
佐藤勝彦/著 河出書房新社

催し物の御案内

開催中 第3回貴重資料紹介展

「明治維新の舞台裏 ～高崎正風 関係書簡から～」

期間：令和3年2月24日（水）まで

場所：県立図書館正面玄関ロビー

初公開の書簡を含む貴重資料が展示され、これまでに多くの方に御覧いただいております。「まだ」という方には、是非御覧いただき、激動の時代を駆け抜けた、「高崎正風」その人を感じてください。

一般閲覧室ミニ展示

1月31日(日)まで 「古典に会う」

2月 2日(火)から 「“あの人”の読書案内」

児童文化室ミニ展示

1月22日(金)まで 「読んで、ながめて楽しい図鑑」

1月23日(土)から 「むかーしむかしのおはなし」

図書館職員をつぶやき

「お互に図書は丁寧に取扱ひませう

蜜蜂の花に對するやうに

蜂は蜜を吸ひ出すが其花を傷めません」

当館に所蔵している、歴史ある本の表紙をあけると、このような案内が貼ってあります。とても美しい言葉での案内は、なんだかとてもおしゃれです。

同時に、先輩方が図書を大切にされていたからこそ、今も我々が利用できるのだな、とありがたく思います。

図書は、一冊一冊が県民の大切な財産です。これまで先輩方が残してくださった大切な財産を、私たちも、次の世代へつなげるために、大切に扱うよう心がけています。

図書館を利用されるみなさんも、いつも図書を大切に扱っていただき、ありがとうございます。

そして、これからも、未来を担う後輩たちのために、御協力をお願いいたします。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、湊かなえ/著 の『夜行観覧車』(双葉社)です。

この本は、私が6年生になったばかりの時に母が借りてきてくれた本です。登場人物の彩花や淳子は、「坂道病」という彩花が考えた病気で、彩花はかんしゃくを起こし、淳子は夫を殴ってしまいました。この坂道病が、今のコロナによる自粛のストレスと重なって見えて、今の世界のつらさが身に染みしました。

私は、あまり母との会話が少なく、壁ができてしまうのですが、この本のおかげで、好きな本を教えたり、本の感想を話し合ったりすることができるようになりました。この本に登場する彩花と真弓の親子も仲良くなればよいなと思います。



図書館クイズ

えほん『ロージーのおさんぽ』
パット・ハッチンス/作 わたなべしげお/訳
(偕成社)からのクイズです。

めんどりのロージーはすたこらおさんぽ。
おにわのつぎは、どこにいったかな？
①ほしぐさのやま②へいのすきま③おいけのまわり

ヒント
おちないように きをつけて

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、2月14日（日）までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。
前回の答えは「①やさしいこと」でした。
たくさんの御応募ありがとうございました。



図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
1月	10	11	12	13★	14	15◇	16◆
	17	18	19	20★	21	22	23□
	24	25	26	27★	28	29◇	30
	31	1	2	3★	4	5	6
2月	7	8	9	10★	11	12◇	13
	14	15	16	17★	18	19	20◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日：9時～21時
※ 児童文化室は19時まで
日曜日・祝日(自休): 9時～17時

- は、休館日
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(1月15, 29日, 2月12日)
- は、児童文化室新着図書の日(1月23日)